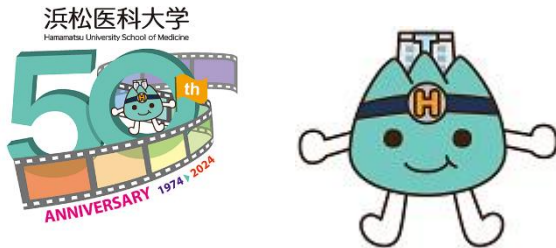


はんだやまっぴー：浜松医大のマスコット



浜松たべあるき特集号

レポーター 伊藤純哉 御室総一郎 医局秘書濱井規子

ようこそ浜松へ！地元麻酔科医が学会開催地の名物、お土産、お立ち寄りスポットを推薦します。今回は、2月に学術集会が開かれる浜松の紹介です。浜松医科大学 麻酔科の伊藤純哉先生に 地元住民だからこそ知る名物、お土産、観光地などの情報をご紹介します。旅のお供に是非！

学会会場となっているのは浜松駅から徒歩5分で到着するアクトシティ浜松。浜松駅から外に出ることなく会場まで到着可能です。天候、気温も関係ないので日帰り参加予定の方はかさばるコートはいらないかも？音楽メーカーのYAMAHAなどの企業がある楽器の町でもある浜松を代表する建築物でもあるアクトタワー(アクトシティに併設)はハーモニカがモチーフになっているため、街中で迷ったときにはハーモニカを指せば解決です。

食事処

浜松名物といえbaumagi!ではありますが、ふるさと納税でうなぎを食べつくしている皆さんのために、うなぎ以外の隠れた名物も紹介します。私のおすすめのうなぎ屋は「うなぎ料理 あつみ」(053-455-1460)です。食べログ百名店に選ばれるだけあって納得のクオリティです。西日本から車で移動する方であれば、三ヶ日インターからすぐの「うなぎ千草」(053-524-0809)に行けば浜名湖を目の前に素晴らしい雰囲気と味で満足すること間違いなしです。もう一つ有名なのがハンバーグチェーンの「さわやか」。厳格な衛生管理で提供される生の状態のハンバーグを目の前のプレートで焼かれると、ジュウウウという食欲をそそる音と匂いでわくわくがとまりません。浜松餃子もおすすめです。浜松で地元民がラーメンを食べるときには、「餃子がおいしいラーメン屋」という理由で選ぶ人もいるくらい、餃子は身近な存在です。もやしのシャキシャキ感がアクセントになって、ついつい食べ過ぎてしまうかも。浜松餃子の有名店といえば「むつぎく」(053-455-1700)です。駅から徒歩3分で行けますが、とても混むので来店時間には注意です。お酒が好きな方にお勧めなのは、浜松近海でとれる新鮮な海の幸です。生のしらすや生のサクラエビを食べたことがない人はぜひ試してみてください。新鮮な状態でのみ提供される生しらすは日本酒によく合いますが、鮮度が大事なのでお取り寄せよりもぜひ浜松で食べていただきたい!居酒屋で注文する際

には黒はんぺん揚げも一緒にどうぞ。(編集部注 浜松で飲めるところは有楽街やあとちょっと値段は張りますが千歳(ちとせ)にはおいしいお店が多いと思います。たとえば繁松とかはすっぽんやお酒がおいしいです)

それ以外においしいお店として、駅の近くのうなぎ八百徳、うなぎのうな炭亭、すっぽんの日本料理繁松(しげまつ)要予約、車で少し行ったところには、うなぎ加和奈(かわな)、いちばん有名な共水うなぎのうなぎ大嶋もあります。

観光

浜松近郊に、HONDA、SUZUKI、YAMAHA というバイクの3大メーカーを抱える浜松市はバイクの一大生産地です。浜松からは離れますが、本田宗一郎ものづくり伝承館、スズキ歴史館、ヤマハ発動機コミュニケーションプラザなど、バイク好きにはたまらない建物が多く存在します。浜松は楽器の町でもあります。ヤマハ、カワイ、ローランドなどの世界的楽器メーカーが集まる浜松には、駅には自由に演奏できるピアノが置かれ、アクトシティには古楽器が収集されている日本唯一の公立楽器博物館があります。この機会に音楽の歴史に触れてみてはいかがでしょうか？小さい子供を連れて観光する場合は、はままつフルーツパークや浜松フラワーパーク、浜名湖ガーデンパークもいいかもしれません。食いしん坊にはフルーツパークでのいちご狩りが、お花好きにはフラワーパークやガーデンパークの散策が楽しいのではないのでしょうか。浜

松は暖かいので2月には梅や早咲きの桜が楽しめます。天気が悪い場合には、浜松銘菓「うなぎパイ」を生産している「うなぎパイファクトリー」がいいですね。うなぎパイが作られる様子を見ながら工場見学をすると、お土産に1人1つミニうなぎパイがもらえます。2階にあるカフェではうなぎパイを使ったスイーツも食べられるので、珍しいスイーツが食べたければぜひ！（編集部注 アクトシティの周りにはレンタカー屋さんが並んでいます。車の運転には十分気を付けて、楽しんでいただければと思います。）

サ道

静岡といえばお茶なんだろうなと思ったそのあなた。お茶も有名ですが、今回は別な「サ」道、サウナ道です。浜松医科大学に通う5年生のA君(サウナ店でアルバイト中)に浜松近郊のおすすめのサウナ店を聞いてみました。プロの選ぶ第一位のサウナは、「しきじ」(054-237-5537)でした。

お土産

時間があれば

浜松市からは離れてしまいますが、せっかく遠く離れた静岡県に来たのもう少し観光したいという方のために、熱海や伊豆はさすがに有名すぎるので、やや隠れた静岡おすすめスポットを紹介します。1つ目は三島スカイウォークです。伊豆と箱根の中間にある三島。日本最大の全長 400m のつり橋は、空に向かってあるいているかのような感覚で、日本一高い富士山と日本一深い駿河湾が同時に視界に入る絶景スポット。2つ目は富士山浅間大社です。富士山をご神体とするこの神社は、富士宮駅から徒歩で参拝可能です。本殿・拝殿・桜門などは徳川家康の建立寄進によるもので、本殿と拝殿は重要文化財になっています。境内には富士山の雪解け水が湧き出す池があり、水汲み場でこの水を持ち帰ることもできます。登山者はこの水で禊をするそうですよ。買い物がしたい方は3つ目の御殿場アウトレットがおすすめです。日本最大級のアウトレットという売り文句の通り、ファッションからスポーツまで多くのブランド品がお手頃価格で手に入ります。ただし、ここの敷地内にあるさわやかは待ち時間が 600 分を超えることもあるので気軽に行こうと思っはいけません。行く場合は最初にさわやかで整理券をもらってから、ゆっくりアウトレットを楽しんで、帰り際

に行くのが地元流のやり方です。(編集部注 土岐プレミアム・アウトレットもよくいきます！)

お土産

ここまでたくさん名物を紹介してきましたが、そろそろ家族へのお土産も気になってきたのではないのでしょうか？ここまで触れた、うなぎ、浜松餃子、うなぎパイもちろんお土産として素晴らしいとは思いますが、ここでは定番からコアなお土産までをご紹介します。定番の商品といえば、お茶でしょう。静岡茶は全国的に有名ですが、意外と地元民は自分でお茶を買う機会が少なかったりします。その理由は、何かの度にお茶を送りあう習慣があるからです。私の家にあるお茶は、誰かの送別会でもらったものや、ちょっとした旅行のお土産などばかり。軽くてかさばらず、値段も手ごろで静岡らしさがある。まさにお茶はお土産界の優等生です。優等生過ぎてどの銘柄を買えばいいかわからなくなると思うので一つ紹介しますが、私のおすすめは掛川深蒸し茶です。濃厚な味と香り、渋み。人によっては薄茶糖という砂糖の入ったお茶を飲むこともあります。ぜひお試しください。お茶は家にあふれているというかたは、静岡麦酒というビールも定番です。暑い静岡で作られたビールは、汗をかいた日に飲むとよりおいしく感じられます。定番土産は飽きたという人は、わさび漬はいかがでしょうか？静岡の高齢者は給食で食べたという思い出の味です。わさびのつん

と来る辛さは、そのまま少量食べてもよし、ごはんにあわせてもよし、そばの薬味にしてもよし。静岡らしさと珍しさを兼ね備えた逸品です。

いかがだったでしょうか？筆者の食に関する興味が出すぎていたような気もしますが、よく食べ、よく楽しみ、心身を整えて万全のコンディションで学会会場でお会いしましょう！

浜松どんなところ？



アクトシティ浜松 学会会場の見どころ



うなぎ料理あつみ



うなぎ千草



さわやか



むつぎく



繁松



本田宗一郎ものづくり伝承館



スズキ歴史館



ヤマハ発動機コミュニケーションプラザ



楽器博物館



はまつフルーツパーク



浜松フラワーパーク



浜名湖ガーデンパーク



うなぎパイファクトリー



しきじ



三島スカイウォーク



富士山浅间大社



掛川深蒸し茶



静岡麦酒



わさび漬

